

SCIENCE FICTION & FANTASY COTERIE MAGAZINE

NOVEL AIR

ノベル★エアー

入会マニュアル



2003年版

CONTENTS

ご挨拶	1
NOVEL AIR 概要.....	2
NOVEL AIR 入会の手続き.....	5
NOVEL AIR 会員規約	6
NOVEL AIR Back Number	12
★付録	
フロッピーディスク及びインターネットによる、 原稿提出の手引き	18
補足・アート会員について	22
入会申込書	末尾

ご挨拶／NOVEL AIR入会希望の皆様へ

この度はNOVEL AIRへのお問い合わせをいただきまして、ありがとうございました。

当会は、広い意味でのSF&FANTASY小説の創作を志す創作者たちの集まりで、学生から社会人、家庭の主婦にいたるまで、社会的な枠組みを越えた方々がそれぞれのアプローチで創作に取り組んでいます。

会の発足は九十三年七月。より純粋に創作に打ち込める場を創り、常に新しい挑戦を続けて行こうと、当会の前進である旧サークル「a i r」の五周年を節目として運営組織・方針を一新、まったく新進の創作系サークルとして立ち上げました。その成果が会の作品集として発行されている「NOVEL AIR本誌」の一冊目から如実に現れていると自負しております。

肝心の作品の質にはまだまだ不満が残るのも事実ですが、会員が一生懸命に書いた作品には、その巧拙に関係なく、読み手の心に何かを残すいわば「妙味」とでも呼ぶべきものが必ず発見できるもの。そういった力強さや勢いを感じさせてくれる作者を私たちは熱望しています。

これから書いてみたいと思われる方、もうかなり書き慣れている方、参加していただく方々の書き手としてのスタートラインはそれぞれに違うことでしょう。しかし、創作へと向かう気持ちが豊かなものであるならば、それぞれが開くSF・FANTASYの扉にはピートの信じる夏と同様、より大きなセンス・オブ・ワンダーの世界がきっと広がっているはずです。

自由な思索性、イメージ伝達力、遊び心、メッセージ性……、こういう魅力的な役割を言葉に与えて、読む人をとらえる作品をどしどし発表してゆきたいとNOVEL AIRは考えています。

皆様も会の概要や規約などをよくお読みになった上で、積極的に会活動への参加をいただけることを運営委員一同願っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

NOVEL AIR会長 千名民時

NOVEL AIR 概要

1、会の主な活動

NOVEL AIRの活動は「4月～翌年3月まで」を一期間として区切ります。

『本誌の発行』『本誌投稿作の批評』『定例会の実施』『連絡誌の発行』

一期間活動の主軸となるのがこの四点です。それぞれの簡単な説明を以下に記します。

★ 本誌の発行 ★

対外的な会の顔となるのが「NOVEL AIR本誌」です。本誌用作品規定に基づいた小説を会員の方々から募集し、運営委員の作品選考を経て掲載作を決定します。

本誌はカラー表紙で商業誌なみの体裁を誇っており、イラストのレベルも高くビジュアル的にも評価をいただいています。会員の方々もこの本誌への掲載を一つの目標として、創作能力のレベルアップへと取り組んでいます。

作品募集の締め切り日から編集・発行にいたるまでのスケジュールの組み立ておよびそれに従っての作業は、編集局が中心となって管理・進行しています。本誌の発行は会活動のメインイベントですから、会員の方々には予め発行スケジュールを連絡誌上などで報告し、必要に応じて進捗状況をお知らせすることで、作業の現状をほぼ正確に把握いただいているわけです。しかしながら、運営スタッフも専業でサークル活動や制作作業に取り組んでいるわけではないので、諸般の事情でスケジュールが遅れることが往々にしてあります。その点をご理解下さい。

なお、惜しくも本誌への掲載がかなわなかった作品につきましても会員間の感想・批評は必ず行います(詳しくは「本誌投稿作の批評」参照)。また、現在のところ原稿用紙50枚以内の短編小説を中心として活動を続けていますが、長編の感想が欲しいといった場合などは本部に送付いただくことで、運営委員によるコメントを得ることもできます。

☆☆ 本誌用作品規定の参考例 ☆☆

(1)〇月〇日まで必着。締め切り厳守。ただし、作品の集まり具合や、提出予定者の事情によって、メロ切を延長することもあります。

(2)ジャンルは広義のSF&FANTASY。(かなり範囲は広く、境界作品も可)

(3)基本として、400字詰原稿用紙50枚以内のオリジナル読み切り短編であること。(シリーズものと判断されるものは不可。ただし、完結した作品の続編や姉妹編ならば可)。50枚以上の作品については、作品の内容や質によって編集委員の判断で、掲載の可否を決定します。

(4)掲載は原則として一人一作。ただし、応募自体は複数の作品での参加も可。その場合、なるべく三作までに絞ること。

(5)作品の投稿はフロッピーディスクもしくはeメールによるバイナリメールでの送付推奨。ただし、MS-DOSのテキストファイルにコンバータすること。また、郵送の場合には必ずプリントアウトした原稿も同封す

ること。

eメールによるデータでの投稿の際には、ルビ文字や傍点の表記について、NOVEL AIR内のローカルルールがあります。詳細は入会したのちに、編集局にお問い合わせ下さい。詳細は18Pの「フロッピーディスクまたはインターネットによる、原稿提出の手引き」を参照)

(6)プリントアウトもしくは手書き原稿のみで投稿する会員の方は、締め切りを二週間早く見積もること。

★ 本誌投稿作の批評 ★

本部へと送られた本誌への投稿作品は、全作がNOVEL AIRの会員専用ページにて公開されます。もしくは先に作品の選定をおこない、惜しくも本誌掲載にいたらなかった次点作品集と掲載された本誌として二度に分けて届けられるかのいずれかの形で発表されます。

その本誌への投稿作品に対して作品批評会の実施および作品評の発行をいたします。

批評会は通常、午後4:00～6:00までで定例会の場でもある新宿の喫茶店にて行い、フリー参加です。毎回、熱気の溢れるムードで進行しますが、珍評・奇評も飛び出し、笑いの渦となることもしばしばです。批評会の内容は連絡誌にて報告します。

作品評は全会員提出が会の約束であり、投稿作の感想・批評を記入し、期日までに返送していただきます(投稿作品が会員に届いてから約一ヶ月)。それを運営委員がまとめたものを作品評として発行します。

自分の作品に対してのレスポンスは、励みにも、勉強にも、落ち込む原因にもなりますが、この洗礼(?)を真摯に受けとめた方々は、次回作のレベルがアップしています。

本誌発行と並ぶ、会の代表的な活動の一つです。

★ 定例会の実施 ★

月に一度、新宿の喫茶店にて定例会を実施します。場所は会報にてお知らせします。

定例会では、各運営局からの連絡、会活動の打ち合わせなどを行い、あとはフリーもしくはテーマを定めたトークンで、つまりは会員相互の親睦を図ることが目的のお茶会みたいなものです。思わぬ方向に話の花が咲き乱れ、お世辞にもまとまりがあるとは言えませんが、そこはやたらと真面目な部分と肩のこらない雰囲気とを併せ持ったNOVEL AIRのこと。たとえば「キャラクター・メーカー」など創作と関わるテーマで開催される定例会や、本誌の作品批評会などでは真面目部分が表に出てきてびしりと(?)決まり、会の面目躍如たりと言ったところです。

定例会は、その月の最終日曜日の午後4:00～6:00として行うことが多いのですが、具体的な日時・場所は連絡誌でお知らせしています。

★ 連絡誌の発行 ★

隔月で連絡誌『大気通信』を発行します。(現在、事情により休刊中。代替として会員ページにて情報を提供しています)

各運営局からの連絡事項と会員の方々のお手紙などで構成され、ショート・ショートの投稿な

ども自由に行われています。定例会に参加の難しい会員の方々からは大気通信を楽しみにしているとの意見も多く、その誌上を活躍の場としている方もいらっしやって、定例会とはまた違った会の雰囲気味わえます。

また、毎月の定例会報告を、ペーパーとして発行・送付します。

3、会員の種別

会員には、大きく分けて以下の3つがあります。

- 正会員……………小説の執筆をする、会の中核となる会員。NOVEL AIRの発行者・WEB上での作品発表・定例会・チャットミーティング・メーリングリスト・各種イベントに参加できます。正会員でアートを描きたい場合には、アート会員と同様にアートを発表する資格があります。
- アート会員……主として本誌の挿し絵やイラストを描く会員。NOVEL AIRの発行者・WEB上での作品発表・定例会・チャットミーティング・メーリングリスト・各種イベントに参加できます。アート会員でも、小説を書きたい場合には、正会員同様に発表する資格があります。
- 特別会員……………小説・イラストともに作品を会誌に発表することはできませんが、購読賛助会員としてNOVEL AIRに関わりたい人を対象としています。発行される会誌・連絡紙も正会員同様に頒布されます。また、NOVEL AIRの主催する定例会・チャットミーティング・メーリングリスト・各種イベントにも参加できます。

4、会費

正会員・アート会員

- 一期分……………8000円

(NOVEL AIRの会費は一期間の主にかからの発行者にかかる経費から計算されたものです)。

納入時期・方法に関しては、会計局よりご報告いたします。通常は、4月末が新期間の締め切りとなり、定例会での直接支払い、現金書留、郵便局の定額小為替、銀行口座へ振込などの方法があります。ご納入の確認後、会計局より領収書が発行されます。なお、銀行振込の場合には、振込時の受領書をもって領収書とさせていただきます。

- 特別会員……4000円(一期分)

5、会の運営機構

編集局、事務局、本部・会計局を運営組織として設けています。

編集局…版下作成、印刷手配など本誌発行の要所。

事務局…会員の窓口。連絡誌の発行、定例会の実施。

本部・会計局…会の大蔵省。運営費の管理。一期間の予算編成案作成、収支報告。
この各運営局の代表と会長および会長補佐が運営委員として会を運営しています。
※運営委員4名…会長・千名民時、編集局長・安部裕行、事務局長・小松憲寿

NOVEL AIR入会の手続き

会の概要・規約(2P～7P～)など、よくお読みいただけましたでしょうか？

規約はやや堅苦しい感じもありますが、すべてを杓子定規に判断するためのものではありませんし、これにとらわれて活動の勢いをなくすのは意味のないことです。規約の制定はNOVEL AIRの前身であるサークルairの活動面での反省から、会という仲間うちの状況になれてしまうことへ一線を引き、互いに責任を持って活動しようという意味と、会の活動を過去の慣習だけで行うと新しい方が勝手が分からずに戸惑うという意見もあって導入したものです。ここ最近では複数のサークルで活動している方がわりと多くなっていますので、無用なトラブルを避けるためにもそれぞれの活動の特徴は会が責任を持って明記する必要があると感じています。最低限「その一四(会員の約束)」を守っていただければノー・プロブレム、なにも問題はありません。では、入会に当たっての注意事項をいくつか記しておきます。

(1)会の活動は一期間(4月～翌3月)を一つの会期としています。新入会の方々の活動開始期日は入会が受理された月より始まり、連絡誌が送付や定例会への参加も自由となります。

(2)年度内で途中入会の場合の会費は、入会時期によって調整します。

●会期の始まる4月と同時に、入会される場合には、

＜正会員＞年額8000円　＜特別会員＞年額4000円

●4月15日以降の途中入会(5月から活動に参加)の場合は、

＜正会員＞月額700円×会期末(3月)までの月数。

＜特別会員＞月額350円×会期末(3月)までの月数。

つまり、会期始めに年額を一括で納めた方が割安となります。

★ただし、途中入会でも入会以前の会期中に発行された会誌はお送りいたします。

(2)会費は会計局アナウンスに合わせてお支払いください(通常は4月末が締切り)。

(3)参加以前に発行されたNOVEL AIR本誌のご購入をご希望される方は、本誌代十送料でご送付いたします(誌代はお問い合わせ下さい。古いバックナンバーについてはOFF価格になっています)。詳しくは本部にお問い合わせください。会の活動レベルを把握していただくためにも、本誌に目を通されることをお勧めいたします。

さて、以上の点をご理解いただいた上で、NOVEL AIRへのご入会を希望される方々は、

- 1.案内書の最後にある入会申込書(漏れなく記入)に必要な事項をご記入の上、
- 2.簡単な自己PR(400字詰原稿用紙一枚程度)を添えて、
- 3.会費を同封の上、

次項本部宛にご郵送ください。(お問い合わせはこちらへ)

〒174-0076 東京都板橋区上板橋1-1-14-203

千名民時方 NOVEL AIR本部 入会係

千名民時 (センナ タミジ) TEL.03・5920・1036

E-Mailでのお問い合わせは、pde03175@nifty.ne.jp

(電話によるお問い合わせの場合、PM10:00~11:00の間をお願いします)

◆インターネットからの入会受付も行っています。手軽に申し込みしたい方は以下にアクセスしてください。

<http://novel-air.net/>

以上、宜しくお願いいたします。NOVEL AIR運営委員会

NOVEL AIR 会員規約

■まえがき

私たちの創作への歩みには、かつて、純粹に、素朴に、その一步を踏み出した瞬間がありました。その瞬間——私たちが創作へと誘った心動かされる作品との出会いこそ、創作者であることを選んだ私たちの、一つの原点と言えるのではないのでしょうか。

おびたしい数の作品群が留まることなく、まさに流通されてゆく今、私たちは純粹で素朴な創作への原点に何度でも立ち返り、創作への追究を続けてゆくことで、真に価値のある作品を残すことが出来るのでしょう。

NOVEL AIRは、そこに参加する会員が、創作への情熱を奮い立たせ、それぞれが互いに個性を磨きあいながら、より質の高い作品を完成してゆくための、研鑽の場であろうとして組織されたサークルです。作品の向上を単に技術的な面のみで終わらせないためには人間的な成長が欠かせない要素ですから、学生から社会人までの多様な価値観が集うことにも団体をなすことの意義があります。

しかし、烏合の衆ではまったく意味がありません。

会員の一人一人が会の目的をよく理解し、そこに沿って互いに協力することで、健全で発展的なNOVEL AIRの活動が可能になるのです。

そこで、会員が会の内容をしっかりと把握し、会の活動に安心して参加し、かつ活動を通して十分な満足が得られることを目的として、このNOVEL AIR規約を制定しました。会員はその一人一人が会の運営を支える大切な一員であることを自覚し、責任と義務と誇りを持って実りのある活動をしてゆくための一つの道標として、この規約を守り、また活用することを願っています。

1 全体に共通の決まり

●その一（規約の目的）

この規約はNOVEL AIR(以下、会といいます)の会・会員に対して基本的な事柄を定めたものです。

●その二（規約にあてはまる会員の範囲）

この規約は「その十」により入会した全会員にあてはまります。また、必要に応じて特別会員を設けますが、特別会員の規定はこの規約とは別に定めます。

●その三（規約を守る義務）

運営委員をはじめすべての会員は、この規約をよく守らなくてはなりません。互いに協力して、会での活動を有意義なものにしてゆきましょう。

2 会の基本となる決まり

●その四（会の名称）

この会は名称を『NOVEL AIR』と表記し『ノベル エア』と呼びます。

●その五（会の基本精神）

この会の基本精神を『純粋な創作活動は、自分を磨き、目的を達成し、広く社会的に貢献させる良質の人間的な活動である』とします。

●その六（会の目的）

この会は「その五」の基本精神のもとに『一時の価値に留まらない作品を残せるような、各会員の高い創作水準の達成とそれを維持するための研鑽の場』であることを目指します。また、そのために『作品の発表と批評による会員相互の啓発の場としての機能』を第一の目的とします。

●その七（会の基本的な活動）

1)この会は「その六」の目的を達成するために四月から翌年三月までの一年間を一期間の活動期間と定めて、全会員の協力のもとに次の活動を行います。

- ①本誌の発行と作品批評。
- ②定期的な連絡誌の発行。
- ③定期的な例会の開催。

2)この会は「その六」の目的達成のために、全会員の協力のもと、一期間ごとの活動期間にとらわれない随時の活動を次のように行います。

- ①本誌のPRおよび販売。
- ②新会員の募集。
- ③本誌発行時以外の作品批評の受付。
- ④その他、状況に応じて各種イベント。

●その八（会の運営費用）

1)この会は基本的に、会費、本誌などの売上費で運営します。また、会の財政状態によっては印刷補助費などで運営の援助をします。

2)定例会参加の交通費や飲食費、本部や事務局への原稿の送料などは、原則的に会員の個人負担とします。

3)本誌の売上などの会の活動による収入はすべて会運営の財産として、会計局によって管理されます。

3 会員に関する決まり

●その九（会員の証明）

1)会員には会員番号が発行され、それをもって会員の証明とします。

2)会員番号は本人のみの使用とし、他人への貸与・譲渡をしてはいけません。

●その十（入会の規則）

入会には運営委員会の承諾を必要としますが、会の基本精神に則ってこの規約を守る意思の表明があれば、入会資格は原則的に不問とします。

●その十一（会費の納入）

1)会費は「その六」の一項に定めた一期間ごとに、所定の金額を所定の期日までに所定の方法で納めてください。

2)会費は原則として一括前納制とします。また、納入期日までに会計局まで連絡をすることで、期日後の納入や分割納入も可能です。

3)一期間の途中から入会した会員は、入会日までの会の一期間の諸経費を差し引いた金額を会費として、所定の期日までに納めることとします。

4)物価の変動などに伴い、会費の金額は修正される場合がありますが、一期間内での会費の追加は原則として行いません。

●その十二（会費の返却）

1)会費は次の場合、その一期間分として会員が負担した全額を会員にお返しします。

①会の一期間の活動が期間終了以前に会の運営上の責任で継続不可能になった場合。

②会の運営上の責任で、不当に会員の名誉が傷つけられたなどの原因でその会員が退会に至った場合。

③会員の個人的な事情で退会を希望する際、退会日が一期間の開始三ヶ月以内の場合。

2)会費は、会員の個人的な事情で退会を希望する場合は、退会日が一期間の開始四ヶ月目以降の場合は、その一期間分として会員が負担した会費からすでに使用した経費を差し引いた額をお返しします。

ただし、本誌の発行につきましては、運営委員会よりその正式な予算案が会員に報告された時点で経費として使用したものと見なし、お返しする費用から差し引かせていただきます。

●その十三(会員の権利)

1) 会員は会に対して権利としての次の特典を持ちます。特に注釈の付いていない項目は会費の範疇となり無料です。

①本誌掲載用の作品を投稿することができます。ただし、運営委員が発布する本誌用作品の募集規定に従ったものに限り、また、掲載する作品は運営委員会の選定を経て決定されます。

②掲載された本誌作品への感想・批評を全会員から受けることができます。

③本誌投稿作品が不掲載の場合は、その理由と作品への感想・批評を最低限運営委員より受けることができます。

④会費を納めた期間の本誌が送付されます。ただし運営委員会の定めた冊数(別途報告)に限り無料となります。

⑤本誌用以外の作品に対しても、事務局への送付により、感想・批評を受けることができます。この場合は本誌用の作品規定以外の作品(作品枚数の上限以上など)でも構いません。

⑥連絡誌への投稿ができます。

⑦定期的に連絡誌の送付を受けることができます。

⑧定例会への参加ができます。

⑨各種イベントへの参加ができます。ただし、参加料金が必要なイベントを開催する場合があります。

⑩運営に対しての意見を具申することができます。

⑪運営への意見に対して、運営委員会よりその回答を得ることができます。

⑫会の財政状況を知ることができます。

⑬会員の人数、姓名、新入会、退会について運営委員会を通して知ることができます。

⑭その他、この規約に定めた事柄、また、この規約に記していない臨時的・随時的な運営委員の定めた取り決めなどに関しての、権利を持ちます。

●その十四(会員の約束)

会員は会に対して次のように約束し、それを守るものとします。

①会費をきちんと納入します。

②本誌の掲載作に対して感想を述べ、または批評をします。

③会の運営に無理のない範囲で協力します。

④住所・氏名・年齢・職業・電話番号などを運営委員会に報告します。

⑤その他、この規約にて定めた事柄、また、この規約に記していない臨時的・随時的な取り決めなどに関しては、運営委員の定めるところに従い、会での活動を有意義に行います。

●その十五(退会)

1) 退会希望の会員は速やかに事務局までその旨を連絡し、退会することができます。

2) 会費の納入日より一ヶ月以内に連絡のない会費未納入の会員は、自動的に退会となります。

●その十六(除名)

会員に次のような行いがあったとき、他の会員の意見を参考にして、運営委員会の決議により、除名される場合があります。

- ①この会の名誉をはなはだしく損なった場合。
- ②他の会員に多大な不利益を与えた場合。
- ③この規約にひどく反するような行為が行われた場合。

4 運営機構

★一節 (運営組織)

●その十七(各運営局)

- 1)この会は、会の運営を司る組織として、編集局、事務局、会計局を設けます。
- 2)各運営局は、会計局が提出する予算編成案をもとに運営委員会が定めた一期間の予算の範囲内で、活動の効果を最大限に高める努力をしなければなりません。
- 3)各運営局の予算は会計局の管理となり、請求に応じて支給されます。

●その十八(編集局)

本誌の装丁やビジュアル面での完成度を高め、広く世に認められるものとする責任と、本誌の発行予定を会員に報告しスケジュール通りに発行する責任とを負い、編集局長のもと次の活動を行います。

- ①本誌発行予算案を運営委員へ報告し、その決定の後、会員に報告する。
- ②本誌発行スケジュール案を運営委員会に報告し、その決定の後、会員に報告する。
- ③本誌発行スケジュールに基づき、会員または外部へのイラストの依頼をする。
- ④本誌発行スケジュールに基づき、本誌のデザイン、版下作成、印刷の手配をする。
- ⑤本誌の会員への発送。
- ⑥実際の本誌経費の内訳の会員への報告。

●その十九(事務局)

会員間の連絡とその親睦を図り、会員の意見を運営委員会に報告しそれに回答をさせるとともに、会員の意見を運営に反映する会員の立場に立った窓口としての責任を負い、事務局局長のもと次の活動を行います。

- ①連絡誌の定期的な発行。
- ②定例会の実施。
- ③各種イベントの立案・実施。
- ④会員番号の発行。
- ⑤運営の改善点など会員の意見の運営委員会への提出。

●その二十(会計局)

会の財政を透明で健全なものにする責任を負い、会計局長のもと次の活動を行います。

- ①運営費用の管理。
- ②定期的な財政報告。
- ③一期間の予算編成案の作成。
- ④一期間の収支報告。

★二節（運営委員会）

●その二十一(運営委員)

1)この会は、会長、各運営局の代表(編集局長、事務局長、会計局長)と会長補佐を運営委員として、その合議制により会の最終的な意思決定を行います。

2)運営委員は、会の状況と会員の要望をよく理解した上で、目的に適った運営をするために尽力しなければなりません。

●その二十二(会長)

会長は会を目的に適った方向へと導く最大の責任と義務を負います。また、本誌掲載作品の最終的な決定権を持ちます。

●その二十三(各局長)

各局長(編集局長、事務局長、会計局長)はそれぞれの局の活動方針案、予算案の決定権を持ち、運営委員会に議題として提出する責任を負います。

●その二十四(会長補佐)

会長の補佐役です。会長により任命されます。

●その二十五(任期)

1)運営委員の任期は「その七」に定めた一期間とします。ただし再任を妨げません。

2)運営委員はやむなき事由がある場合、任期中でもその辞任を認められます。

●その二十六(任命)

会長および各局長は、会員の互選により任命されます。自薦・他薦を問わず、新たな立候補者があった場合は、全会員の投票による多数決にて決定いたします。また、立候補者がおらず、前期の体制を継続してゆく場合には、一期間の終了時に信任・不信任の投票をいただき、信任多数により任命とします。

●その二十七(解任)

運営委員で、会の目的に適った運営を行うに相応しくないと判断された場合は、その事由を示し、会員の信任・不信任の投票を得て、不信任多数によりこれを解任します。

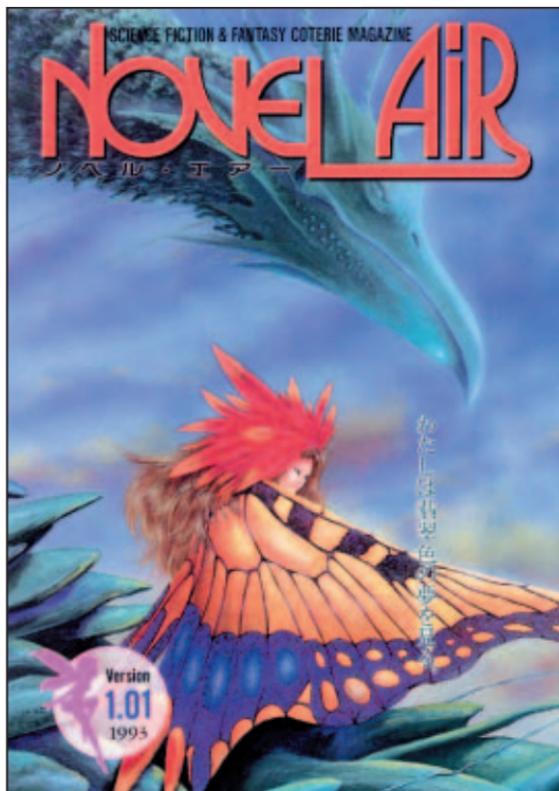
※付則

- 1,この規約は平成六年四月一日より実施します。
- 2,この規約を改廃する場合には、会員の意見を参考にして行います。

Novel Air Back Number

このコーナーでは、NOVEL AIRの過去の出版物を中心に、そのビジュアルイメージをご紹介します。本命である「SF小説」の内容については、実際に本誌をお求めになってみて下さい。ただし、バックナンバーは残りわずかです。お早めに!!

創刊号 Version 1.01



A5版・116ページ
表紙カラー
1993年12月1日発行
頒価：600円（150部発行）
※完売につき、在庫なし。

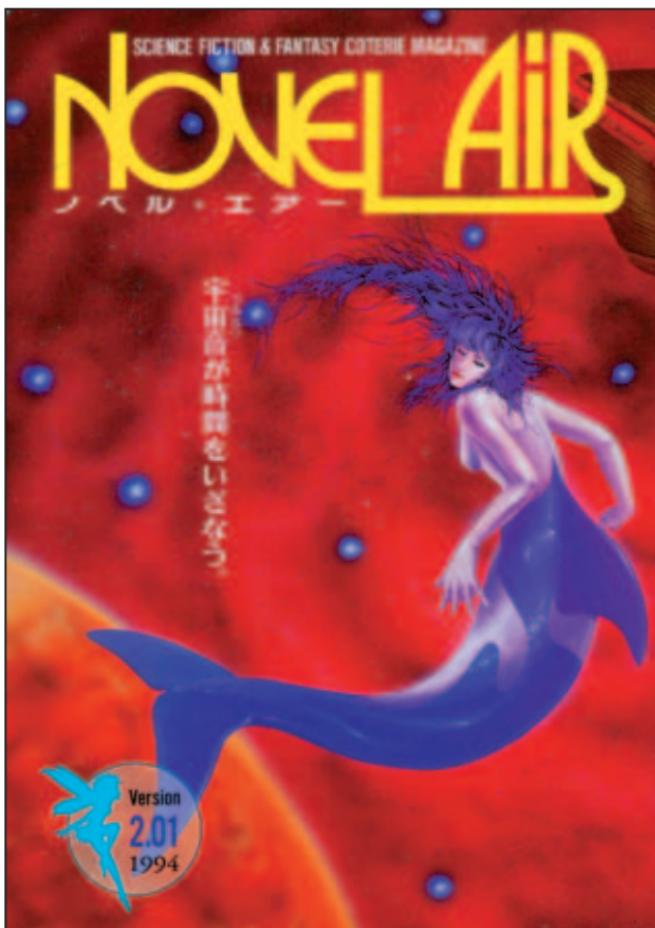
記念すべき創刊号。当初からの方向性であった、ビジュアルを重視した誌面づくりを試みた。SF小説同人誌にありがちな、地味さと古くさを払拭できたと自負している野心作（笑）。好評のうちに完売。

すでに在庫はないのだが、会員の方には希望があれば貸し出しをしている。

掲載作および著者

- 花の闇 / 末森ちはる
- カナンの娘 / 高代アキヲ
- 仮想世界旅行 / 森ひろし
- 夢の向こう側 / 星野怜

- 闇に集いて… / 野見雲拓輔
 - 冬の歌の音 風鈴の声 / 皆瀬仁太
 - 冬の火花 / 水上悠
 - 生霊の書 (ソウル・ウエア) / 諫山裕
- 表紙イラスト / 安部ひろみ



掲載作および著者
 ● 願 (GAM) / 北方実
 ● ヒールと麦茶とアイスクリーム / 諫山裕
 ● 幻想魔術師カリム・大宇宙創世神話 / 皆瀬仁太
 ● 睡の樹 / 江松緑
 ● 宇宙人 / 森ひろし

● 薔菜小路剣劇始末 / 与四岡隆典
 ● 風の音 / 坂田茂雄
 ● 火消し若衆・遣 / 高代アキラ
 ● Side by side / 水上悠
 表紙イラスト / 安部ひろみ

Version 2.01

A5版・128ページ・表紙カラー

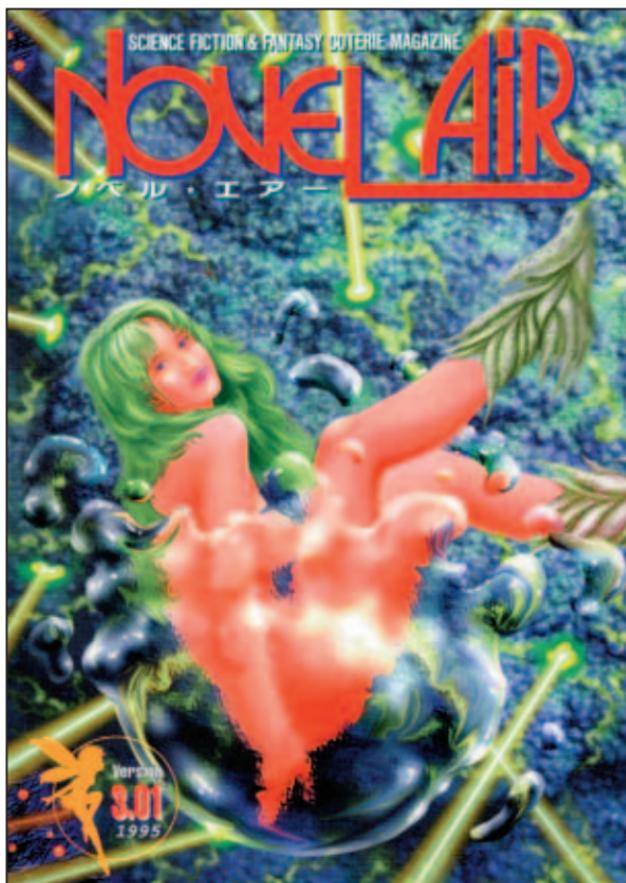
1994年8月21日発行

頒価：600円 (200部発行)

※残部希少。

続く第2号では、より小説のレベルアップを目指した。本号では次点となって掲載できなかった作品が4作品ある。本誌掲載のための会員間の切磋琢磨が始まったといえる。創刊号よりページ数も作品数も増え、読みごたえも増したのではないかと思う。

本号より、MacintoshによるDTPで制作されている。



Version 3.01

A5版・128ページ・表紙カラー

1995年11月3日発行

頒価：600円（200部発行）

3号目ともなると、常連となる執筆陣が限られてくる傾向にある。

それでも、比較的SF色の強い作品が集まった。

この号から、安部ひろみの表紙イラストは、Macintoshによるデジタルアートとなっている。

掲載作および著者

- BEAT/水上 悠
 - 黒猫のヒゲはロマンティックにふるえる/諫山 裕
 - 騒がしい落とし物/小杉 憂
 - 星屑野郎ガンザッパー・四十五億年の黄昏/大神陣矢
 - 風船/中山 真
 - 無限の街/坂田茂雄
 - 堤防にパンツを止めて/末森ちはる
 - 黄昏に近い未来/森村ゆうり
- 表紙イラスト/安部ひろみ

Version 4.01

A5版・128ページ・表紙カラー

1997年3月31日発行

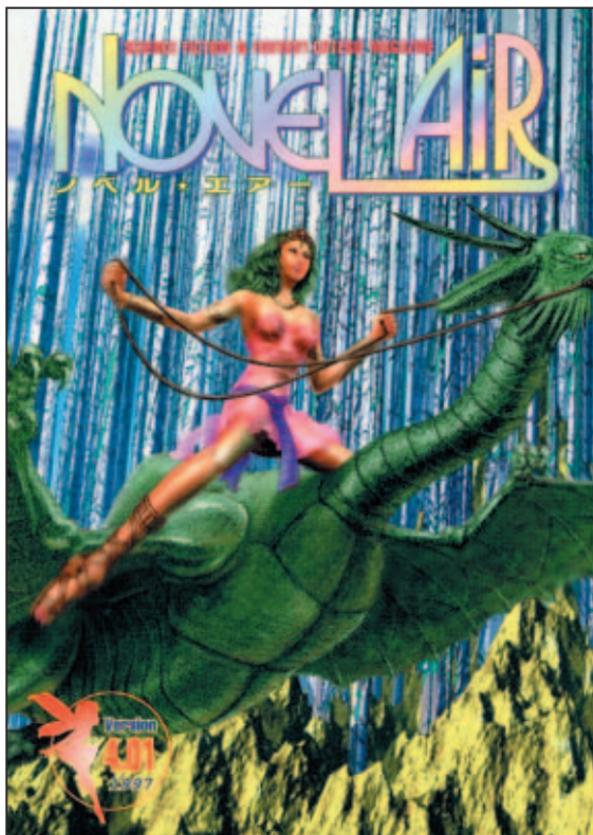
頒価：600円（200部発行）

通巻第4号では、同一作家による複数の作品も収録。じつは本当だったら、ファンタジー特集になるはずだったのだが、なぜか苦手な人が多かったらしく、ファンタジーの王道ともいうべき作品は少なかった。特集しようとしたのが、作品の集まりも悪くなるという裏目に出してしまった。

その名残が表紙である（笑）。

掲載作および著者

- 音屋三代目繁盛記／森村ゆうり
 - 太陽からの贈り物／広木春子
 - 大魚の夢／坂田茂雄
 - 樹人の森／小杉 憂
 - 愛する二十人子供たち／広木春子
 - Well Come To My…／文月麻里緒
 - 無限世界／坂田茂雄
 - 辺境閑話／水上 悠
- 表紙イラスト／安部ひろみ





Version 5.01

A5版・150ページ・表紙カラー

1999年4月20日発行

頒価：600円（100部発行）

4.01から5.01まで、2年のブランクが空いてしまった。会の主要なスタッフの身にいろいろと環境の変化や、避けがたい事情が発生したことが遅れの原因であった。

しかし、この5.01の発行を契機に、再び活動が活性化している。

掲載作および著者

- 機械人形——ドール——/森村ゆうり
 - 彼女の水/永山ミュキ
 - ロードレース/小川義博
 - Realy? /文月麻里緒
 - 鏡はかがみ、カガミさん/坂田茂雄
 - 混乱しまくる転校生
～Let' s Study……?～/小杉 憂
 - リリシアは雪にほころんで/卯月連樹
 - 鈴音ちゃん☆EMOTION
～放課後十番勝負～/おおがみ陣矢
 - 風葬（かせおくり）/水上 悠
- 表紙イラスト/安部ひろみ
裏表紙イラスト/山田幸子



Version 6.01

A5版・216ページ・表紙カラー

1999年10月20日発行

頒価：700円（100部発行）

5.01から半年での、発行となった。それまでの発行ペースからすると、ずいぶん早く出た本である。

また、作品数は少ないものの、ページ数は一番厚い本でもある。それは、初の長編掲載をしたためでもある。

この号から、編集サイドと書き手との間で、作品の完成度を上げるための、推敲や設定上の検証などを厳しく行うという試みも始められた。

掲載作および著者

- リルケの少女／諫山 裕
 - 月桃花／永山ミュキ
 - Shadow Dance／小杉 憂
 - 報われぬ恋／狂王
 - 懐／中山 真
 - silentgarden／水上 悠
- 表紙イラスト／安部ひろみ

★付録

フロッピーディスク及びインターネットによる、原稿提出の手引き

編集局では提出された原稿の迅速で間違いの少ない編集のためと、版下製作のために文章原稿の提出をフロッピーディスクもしくはインターネット（ファイルアップロード掲示板もしくはEメール）でお願いしています。その作業を円滑に進めるために、以下のことにご注意の上、原稿を提出して下さるようお願いいたします。

また、編集局ではMacintoshを使用した作業体制になっており、それとともなって原稿の書き方に注意が必要となります。以下の要領をご覧の上、原稿作業を進めて下さい。

【編集機器・ソフト環境】

編集局で使用している、機器環境は次のとおりです。

▼パソコン

●POWER Macintosh 9600/233

●POWER Macintosh G4/400

Macintoshは3.5インチ2DD・2HD（1.44MB対応）

※3.5インチ2DD（640KB & 720KB）・2HD（1.44MB）のMS-DOS/テキストファイル変換・読み込み可能。

※MOは、128MB、230MB、640MB対応。

●IBM・Aptiva<Windows 95装備>

▼プリンタ

●RICOH・Imagio Color 4000（カラーコピー機兼プリンター）

▼スキャナー

●EPSON・ES-8000（光学解像度600dpi）

▼DTPソフト（Macintosh用）

●Quark XPress 4.1J

■フロッピーディスクの種類とファイルの体裁

①フロッピーディスクによる原稿の提出の場合には次のディスクが使用可能です。〈MS-DOSテキストファイルの場合〉

★3.5インチ2DD

★3.5インチ2HD（1.2MB & 1.44MB）

の1サイズ・3種類（3.5インチの容量3タイプ）が使用できます。

②文書はMS-DOSテキストファイルにすれば移植可能です。

※MS-DOS→MACへのテキスト変換は、テキスト形式のファイルのみ可能です。文書保存の場合には、保存形式を確認して下さい。その機種独自のファイル形式では読み込めない場合があります。MACのワープロソフトを使った場合は、たいていのものがそのままの形式

漢字を除いた、ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号などです。前述したように、テキストファイルにはルビは入らないので、必要な所にはプリントアウトに「赤」で書き入れるか、目立つように印を付けてください。

ルビを付ける文字がルビよりも短い場合は、ルビの長さに合わせて、半角単位で字間を開けて調整してください。(例③)

④○（）付き文字は、特別なものを除いて原則的にできません。特殊記号文字は使用しないでください。

⑤記号について。次の記号の表記・入力に注意して下さい。

「!」「?」の一文字の場合は全角入力。「!!」「!？」とダブルの場合は半角入力。「/」スラッシュは全角。

「 ` ` 」のダブルミニユートの場合は、前者がJISコード「2 B 2 2」後者が「2 B 2 3」を使用していますが、文字化けの可能性が高いため、後から置換が可能ないように “ ” (Unicodeの2010Cと2010D) を使って対処して下さい。

その他、特殊記号で使用可能なものもありますが、外字扱いとなりコードが異なりますので、テキストファイルだけでは判断がつかない場合があります。必ずプリントアウトに赤字で注釈を入れてください。

⑥ダッシュとして罫線を入れたい場合は、記号罫線 (JISコード・2 1 3 D) を使用して下さい。例：―― (2角分)

例③	空 ^{エア} 気 ^キ ／ 鯨 ^{クジラ} ／ 国 ^{クニ} 連 ^{レン} ／ 注 ^{シュ} ／ 幻 ^{マギ}	例②	123便 ^{ベン} ／ 99A番 ^{バン} ／ ABC列 ^{レツ}	例①	平成6年 ／ 25歳女性 ／ 一九九四年
			SCIENCE FICTION		

■文字組及びファイル名の体裁

実際に原稿を書く時には、多くの場合、20字×20行の原稿用紙の体裁で入力していると思いますが、フロッピーディスク (及びインターネット) での、テキストファイルによる原稿の提出には、文字組の体裁を無視してください。(縦横・1行の文字数など。またインターネットの場合は、慣例となっている1行ごとの強制改行も入れないで下さい。改行は段落ごとの任意改行のみ)

その理由は、テキストファイルにして保存した場合、通常のMS-DOSの環境であれば、設定されている文字組の体裁は無視されているはずだからです。

またワープロ専用機の場合、初期設定で設定されている文字組に、強制的に改行コマンドが入ってしまう場合がありますが、その際にはこちらで変換処理いたします。

そして保存するファイル名には、その内容がわかるようなファイル名を付けて下さい。

なお、インターネットで原稿提出の際には、圧縮ファイル (LHA) にてお願いします。

■インターネット

インターネットを利用した原稿の転送には、以下の方法があります。

- NOVEL AIRのサイトの会員専用ページ……ファイルアップロード掲示板に投稿する。
- 直接メールで送る場合………h-abe@cat-studio.com

Eメールの場合は、添付ファイルメールで。ファイルサイズの大小にかかわらず、LHA

(拡張子zh) もしくは、Stuffit (拡張子sit) で圧縮してください。

■画像ファイルについて

アート会員が、パソコン上で描いたイラストや、スキャナーで撮ったイラストを画像として送る場合には、MOもしくはインターネットで送ってください。

MOの場合には、大きなファイルサイズの画像でも問題ありませんが、通信の場合にはJPEG形式や圧縮ファイルにして、送信するファイルサイズが3MB以下になるように送ってください。3MBを超える場合には、MOにコピーして郵送してください。

また、画像解像度は、グレースケールの場合は200dpi、カラーの場合は300dpiにしてください。ファイル形式は、EPS、TIFF、JPEGなど。ちなみに、JPEGの場合には、高品質・低圧縮にするように。

詳しくは編集局までお問い合わせ下さい。

問い合わせ TEL.03-3825-0480

FAX.03-3926-6090

e-mail h-abe@cat-studio.com

●以上ご注意の上、原稿を書いてくださるようお願いいたします。 (編集局/安部裕行)

補足・アート会員について

当サークルでは、小説の創作が活動の中心ですが、アート面での充実も目指しています。また、SFアートで活動するサークルも少ないため、そうした方たちのために微力ながら作品発表の場を提供したいと思っています。アート面での活動を希望する方は、申込書の会員選択欄をチェックして下さい。なお、会費や会員としての条件は小説の場合と同じです。

●正会員のアート会員による作品発表方法。

(1) 本誌掲載の小説作品につける挿し絵として、編集局から依頼するアート作品の掲載が可能です。

※アート制作時には、編集局とのeメールやFAX等による、ラフ段階からの綿密な打ち合わせが必要となります。また、スケジュール的にも厳しくなることがあります。ご承知おき下さい。また、仕上がってきたイラストが、小説作品のイメージに合わない場合や、編集局の意向にそぐわない場合には、描き直しを指示することもあります。

(2) オリジナルのアート作品の投稿、掲載が可能です。

※オリジナル作品の投稿を希望する場合には、その枚数（ページ数）及び作品の意図や企画内容を事前に編集局に相談して下さい。できれば、その作品のラフスケッチ（完成作品ならさらに良い）などを添えて頂けると助かります。

作品の掲載の有無については、小説作品と同様に、運営スタッフの判断によって決定します。掲載枠としてのページ数は、その企画内容にもよりますが、目安として一人当たり4ページくらいが限度かと考えています。

【お願い】 アート会員希望の方は、サンプル作品のコピー等を送って下さい。また、アートのテクニックやスタイルは時とともに変化していると思いますので、まめに最新作のサンプルを送っていただいた方が、よろしいかと思えます。なお、サンプル作品は原則として返却しませんので、ご了承下さい。

●正会員以外の描き手による挿し絵について。

理想としては小説の挿し絵も正会員のメンバーによる、アート作品としたいところですが、小説作品と同様にレベルの高いものにしたいという希望があります。ことに、ビジュアルはまっさきに読者の目に入るものですから、その重要性はとても大きいといえます。また、絵の質やタイプ、そして誌面に変化を付ける意味から、外部の描き手に依頼することもあります。ただし、なるべくなら会員の描き手を優先したいとは考えています。

正会員ではない描き手（特別会員含む）には、上記(2)のオリジナルのアート作品を投稿する権利はありません。正会員ではない描き手は、こちらから依頼する場合のみとなります。

NOVEL AIR 入会申込書

(この用紙をコピーしたもので結構です)

申込日 年 月 日

フリガナ		フリガナ	
氏名		筆名	
フリガナ			
住所	〒		
電話	() -	生年 月日	19 年 月 日
性別	男・女	メールアドレス	
職業・勤務先・職種・ 学校名など具体的に			
ワープロ・パソコンの 機種名、使用している ソフト名を教えてください	機種名		
	ソフト名		
<p>希望するものに <input checked="" type="checkbox"/> をして下さい。</p> <p>▼4月の新会期から入会の場合。(申し込み受付日時が4月15日分まで)</p> <p><input type="checkbox"/> 正会員 (会費8000円) <input type="checkbox"/> アート会員 (会費8000円) <input type="checkbox"/> 特別会員 (会費4000円)</p> <p>▼途中入会の場合。</p> <p>入会希望月に <input checked="" type="checkbox"/> をして下さい。</p> <p>●中途入会/正会員・アート会員 (会費月額700円×3月までの月数)</p> <p><input type="checkbox"/> 5月 <input type="checkbox"/> 6月 <input type="checkbox"/> 7月 <input type="checkbox"/> 8月 <input type="checkbox"/> 9月 <input type="checkbox"/> 10月 <input type="checkbox"/> 11月 <input type="checkbox"/> 12月 <input type="checkbox"/> 1月 <input type="checkbox"/> 2月 <input type="checkbox"/> 3月</p> <p>●中途入会/特別会員 (会費月額350円×3月までの月数)</p> <p><input type="checkbox"/> 5月 <input type="checkbox"/> 6月 <input type="checkbox"/> 7月 <input type="checkbox"/> 8月 <input type="checkbox"/> 9月 <input type="checkbox"/> 10月 <input type="checkbox"/> 11月 <input type="checkbox"/> 12月 <input type="checkbox"/> 1月 <input type="checkbox"/> 2月 <input type="checkbox"/> 3月</p> <p>※会費の計算方法は、チェックした入会希望月を含めて3月までの月数を掛けてください。 (例) 入会希望月が8月の場合……残8ヶ月で=5600円 (特別会員は2800円)</p> <p>●会費の入金方法 <input type="checkbox"/> 定額小為替 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 銀行振込</p> <p>●銀行口座 東京三菱銀行 神田支店 普通口座</p> <p>□座名 : NOVEL AIR 代表者 千名民時 (センナタミジ)</p> <p>□座番号: 0899907</p> <p>●本部住所 〒174-0076 東京都板橋区上板橋1-1-14-203 千名民時</p> <p>●別紙にて、あなたの自己紹介・SF歴や執筆歴を教えてください。書式の体裁は自由です。 (メールでも可) メールアドレス: novelair@novel-air.net</p> <p>アート会員希望の方は、別途作品サンプル(コピー可)をお送り下さい。</p>			

この申込書と、会費をそえて、本部までお申し込み下さい。銀行振込は別途振り込んでください。会費の入金が確認されますと、入会は完了です。

NOVEL AIR 入会マニュアル

2003年2月25日発行

<問合先>

- 本 部:〒174-0076 東京都板橋区上板橋1-1-14-203 千名民時
E-Mail: pde03175@nifty.ne.jp
- 編集局:〒176-0023 東京都練馬区中村北4-2-12 ロイヤルステーション中村橋303
安部裕行
E-Mail: h-abe@cat-studio.com
- ホームページ <http://novel-air.net/>
メールアドレス novelaire@novel-air.net
提携ホームページ <http://cat-studio.com/>

SCIENCE FICTION & FANTASY COTERIE MAGAZINE

NOVEL AIR

ノベル・エアー